



colors

希望 の 道標

vol.63

取材・文／山下久猛
撮影／竹内弘真

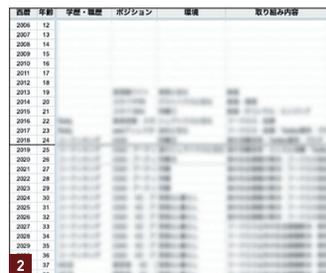
「人生終わった」 そこからがスタート!

#フードロス削減
#崖っぷちからの逆転
#行動で世界が変わる

株式会社コークッキング
取締役 COO
篠田 沙織

Profile

1994年、茨城県生まれ。水海道第一高校、日本女子大学英文学科卒。株式会社コークッキング 取締役 COO (最高執行責任者)。新卒で大手グルメサイト Retty! に入社後、飲食店営業やwebディレクターを経験。その後、食品ロス問題の解決に貢献すべくコークッキングに転職。現在は経営や「TABETE」の運営全般に関わっている。



1 コーキング代表の川越と(写真前列左)会ったきっかけは、私がSNSに書いたやりたいことを読んで連絡してくれたこと。その後、私が作った食の交流会で出会った。

2 今も日々更新している人生年表。死ぬときに、自分が関わった事業を通して社会や人に影響を与えて、感謝されれば最高。そのために今やるべきこと、これからやらねばならないことを考えている。

3 2021年10月時点で登録飲食店が1800店舗、利用者数が47万人を突破。

食品ロス問題に尽力

皆さんは「TABETE」というアプリをご存知でしょうか。飲食店などで売れ残りや余った料理や食品を消費者がお得な料金で購入できるサービスです。私はこのTABETE事業の全体の予算管理や進捗管理、マーケティングを主に担当しています。

現在の私に至るまでにはいくつもの転機がありました。そのたびに「人生終わって」と心が折れそうになりました。

まず1つ目の転機は小学2年生のときに白血病にかかって1年半入院したこと。入院中は基本的にずっとベッド上だったので、唯一の楽しみが食事でした。でも食事制限がきつく、好きなものを食べられない。つてこんなにつらいんだなと痛感し、大きなストレスとなりました。この経験がその後の人生を決定づけることになりました。

高校生になって進路選択の時期を迎え、いろんな職業を調べたとき、食関連の仕事が一番興味があることに気づきました。それで、食を通じて誰かを助ける仕事に就きたいと考え、管理栄養士を目指すことにしました。

いよいよ迎えたセンター試験の日。数学I・Aで予想だになかった大事件が起こりました。一問目がいきなりトリッキーな問題だったんです。その瞬間頭が真っ白になり、そのまま終了。結果は100点満点中13点でした。この瞬間「人生終わった」と目の前が真っ暗に。理系の学部に進学できず、管理栄養士には

確実に成れないことが決まったからです。これが2つ目の転機です。

浪人して両親に負担をかけることは絶対にしたくないと思ったので、日本女子大学英文学科に進学しました。

カフェで見た衝撃的な光景が人生を変えた

大学入学後は居酒屋や焼肉屋、カフェなどいろんな飲食店でアルバイトをしました。ある日、カフェでバイト中に、当日余ってしまった食品を大量に廃棄する現場を見てしまったんです。そのカフェでは明確に廃棄率が設定されていて、計画通りに仕入れ、廃棄することは問題ないという認識でした。これに大きな衝撃を受けました。

ただ、よくよく調べるとこのカフェだけが悪いわけではなく、社会全体の仕組みとしてそうなっていたんです。この一件で将来、食品ロス問題を解決しようと思えました。これが今取り組んでいる仕事に直接繋がる3つ目の転機ですね。もし小2のときの入院の経験がなかったら、「社会の仕組みなんだからしょうがないよね」で終わっていたと思います。

とはいえ当時はビジネスとして食品ロスに取り組んでいる会社など皆無でした。それで卒業後はインターンをしていた食関連の会社にそのまま就職。でもなかなか食関連の新規ビジネスに取り組める機会がなかったため、自分でやるしかない。食品ロス削減の事業を立ち上げるべく起業の準備に入りました。

ちょうどそのころ、現在所属している「T

ッキングの代表と会う機会があり、入社を誘いを受けました。まだ社員が代表含めて2人しかいないベンチャーで不安もあつたのですが、彼らも私とやろうとしていたことは同じだったので、やはりやりたいことをやろうと決断。新卒入社した会社を10カ月で退職し、コーキングに転職してTABETE事業のリリースから運営に携わることになったというわけです。

これまでの27年間を振り返ると失敗だらけの人生で、進路選択のときも悩みまくって、キャリアもとても順調とはいえません。ただ、受験や大学選びなど人生の岐路で迷ったときには、選択肢を多く残す方に動いたのは正解だったと思います。そうした結果、今の私があるので。

また、転機のために人生が終わるかもと思ったのですが、そこからでも動けばいい方向に人生が変わったので、絶望を感じたときでも行動することは大事かなと。それと、就活を始めたころから、80歳を寿命にした「人生年表」をつけるようにしているんです。死ぬときにどんな自分でありたいかを想像すれば、今やるべきことが見えてくるからです。高校生の皆さんも作ってみてはいかがでしょうか。

Story continues

「私たち消費者が
フードロスに立ち向かう方法」
篠田紗織さんのTEDの映像はこちら!

